

savic-net リモートユニット リピータモジュール

形QY6202

概要

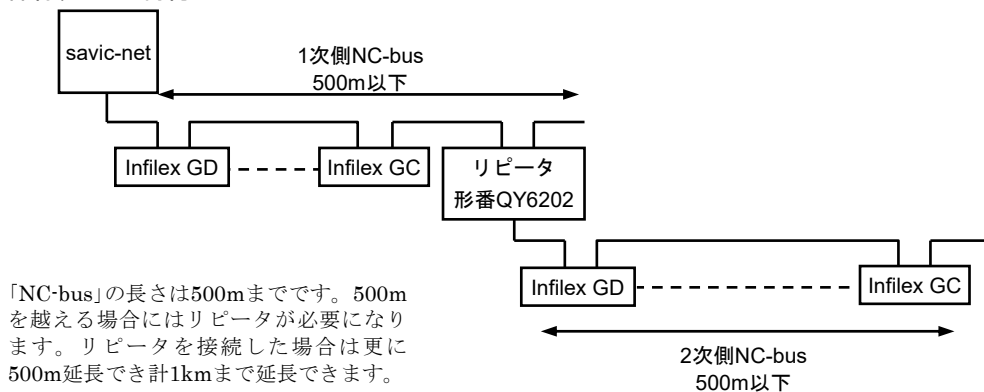
リピータモジュール 形番QY6202は、弊社中央監視システムsavic-netシリーズとリモートユニット(Inflex GD、Inflex GC、Inflex AC、Inflex ZM等)との通信のための伝送波形を整形するものです。savic-netの伝送幹線「NC-bus」上にリピータを設けることにより伝送距離を延長することができます。



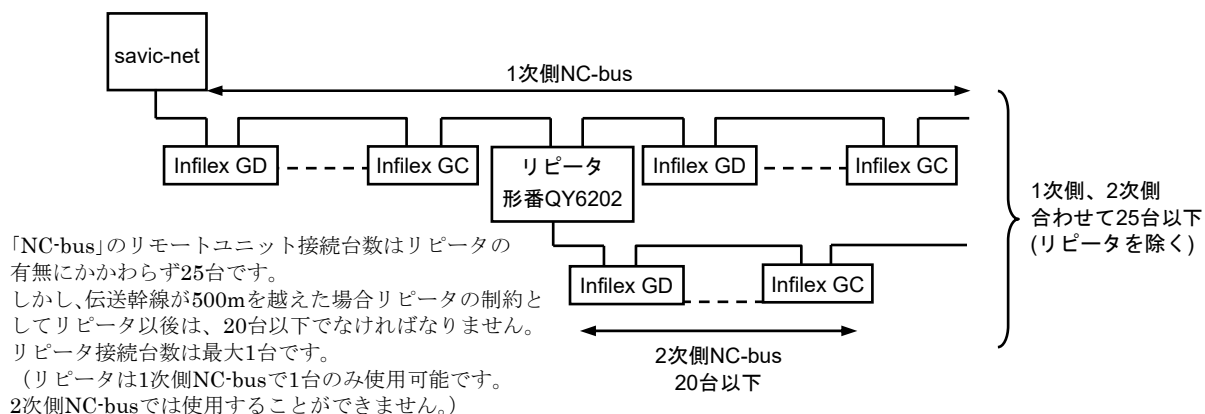
伝送幹線の制約

(1) 幹線の制約「NC-bus」

① 幹線長さの制約



② 接続台数の制約



AS-698

形番

形番	内容
QYG202	NC-bus用リピータモジュール
A	電源:AC100V,±10% 外形:IDC/IDGP I/Oモジュールタイプ
B	電源:AC200V,±10% 外形:IDC/IDGP I/Oモジュールタイプ
1001	伝送標準
1011	伝送2重化

* NC-bus伝送2重化の場合は、リピータモジュールが2台必要です。

仕様

項目	仕様
電源	左記形番参照
消費電力	6VA
出力配線長さ	500m
作動環境条件	周囲温度: -5~50℃ 周囲湿度: 10~90%RH(ただし結露なきこと) 振動: 3.2m/s ² /0~60Hz
輸送、保管条件	周囲温度: -10~+60℃ 周囲湿度: 10~90%RH(ただし結露なきこと) 振動: 4.9m/s ² /0~60Hz
LED表示	次の項目についてLED表示します。
	LED No. 内容 点灯 消灯
	L1 電源 電源ON 電源OFF
	L2 1次側送信 送信中 —
	L3 2次側送信 送信中 —
L4 断線 断線 正常	





安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、本説明書はいつでも見られる所にかならず保存してください。






使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。
 本製品の動きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。
 特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。
 システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。
 なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

⚠ 警告

-  ・ 配線作業は給電元(及び本体の電源)を切った状態で行ってください。感電することがあります。
-  ・ アース接続を行ってください。アースが不完全な場合は、感電、機器故障による火災のおそれがあります。
-  ・ 結線時のカバーなどの取外し、または部品交換時以外は分解しないでください。故障や感電のおそれがあります。
-  ・ 接続箇所にはゆみがないことを確認してください。発熱及び装置故障の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

-  ・ 安全のため接続は、計装工事、電気工事などの専門の技術者を有する人が行ってください。
-  ・ 仕様説明書に定められた定格入出力仕様の範囲でご使用ください。装置故障の原因となることがあります。
-  ・ 本製品は仕様説明書で明示されている使用環境に取り付けてください。故障のおそれがあります。
-  ・ 配線については、内線規程、電気設備技術基準にしたがって施工してください。
-  ・ 電線の端末は絶縁被覆付きの圧着端子を使用してください。

外形寸法

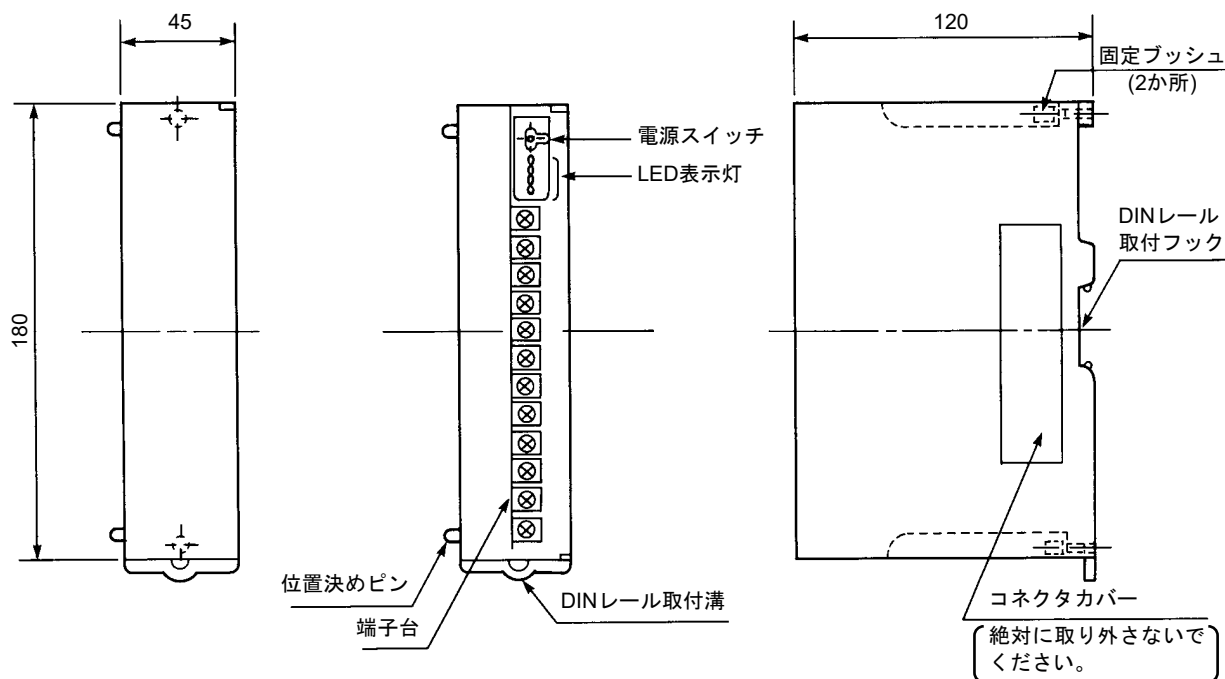


図2 形番QY6202A、形番QY6202Bの寸法(mm)

形番QY6202A、形番QY6202Bの設置

弊社中央監視システムsavic-netとリモートユニット(Infilex GD、Infilex GC、Infilex AC、Infilex ZM等)とを結ぶ伝送幹線「NC-bus」は配線の長さが500m以下の制限があります。配線を500m以上に伸ばしたい場合には、この様に波形の整形を目的としてリピータモジュール(形番QY6202A、形番QY6202B)を設置します。その際、2次側での接続台数に応じてリピータの出力電圧を調整します。

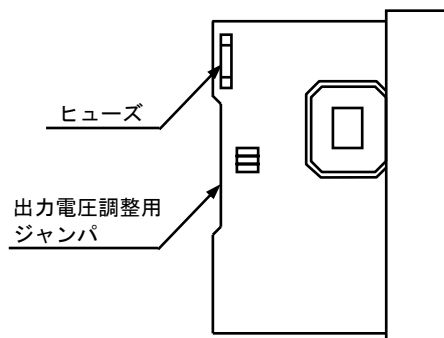


図3 形番QY6202A、形番QY6202Bの基板、出力電圧調整用ジャンパ位置およびヒューズ位置

設置上の注意

伝送2重化されたNC-busにリピータモジュールを設置する場合はそれぞれの伝送幹線(A系、B系)に1台ずつ計2台のリピータモジュールを接続してください。

なお、この場合は伝送2重化対応機種(形番QY6202X1011)を使用してください。2重化された伝送幹線に伝送標準対応機種(形番QY6202X1001)を接続することはできません。

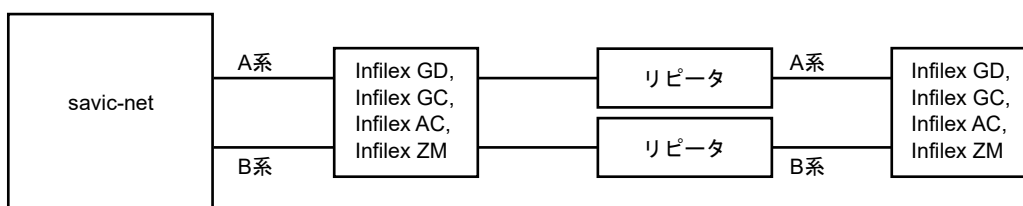


図4 伝送幹線2重化の配線設計

出力電力の調整

2次側伝送幹線の出力電圧の調整を行います。

形番QY6202A、形番QY6202B

1) リピータ基板の取り付け、取り外し

形番QY6202A、形番QY6202BはI/Oモジュールと同様の形状ですので、リピータ基板はケースの上下にあるロック溝で固定されています。基本の取り付けはケースの基板ガイドに合わせて挿入し、コネクタに確実に固定してください。取り外しは、上下のロックを外してから、基板を手前に引き抜きます。

2) 出力電圧の調整

リピータの基板をケースより取り外した状態で出力電圧の調整を行います。図3を参照ください。5mm角のジャンパピンの位置を変えることによって、2次側伝送幹線への出力電圧が変わりますので表1に従って出力電圧の調整を行ってください。

表1 形番QY6202A、形番QY6202Bの出力電圧の調整

接続台数の範囲	出力電圧の調整法(ジャンパ位置)
1~7台まで	W2-3ジャンパ DC20V
8~14台まで	W2-2ジャンパ DC35V
15~25台まで	W2-1ジャンパ DC50V

配線

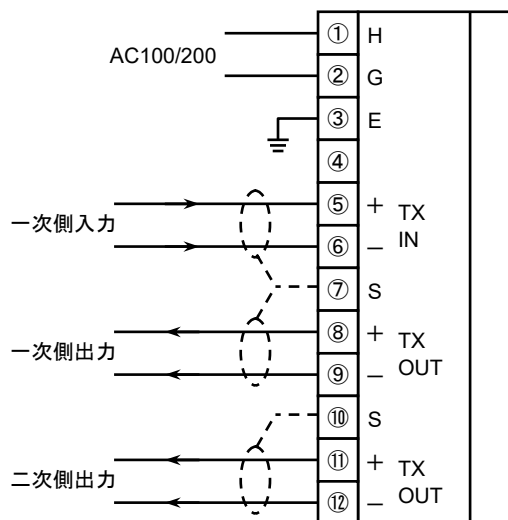


図5 形番QY6202A、形番QY6202Bの配線

付属品

形番	内容	数	備考	
形番 QY6202A、	M4ビス	L=16	1個	直取付用
		L=18		
形番 QY6202B	スペーサ		1個	DINレール取付用
	ロックピン		1個	
	スプリング		1個	
	ヒューズ(0.5A)		1個	
	ジャンパピン		1個	

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ
0120-261023

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。

<https://www.azbil.com/jp/>